

令和 3 年 1 月 27 日	
資料提供	
担当課（室）	県立博物館 学芸課
担当者	主査学芸員 坂本亮太
電話	073-436-8670（代表）
E-mail	admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

# 高野山大学図書館の名宝がズラリ！

## 企画展「祈りと学びの山—高野山大学図書館の名宝とともに—」 の開催について

和歌山県立博物館では、令和3年（2021）1月30日（土）から同年3月7日（日）の会期で、企画展「祈りと学びの山—高野山大学図書館の名宝とともに—」を開催します。

この企画展では、高野山大学が所蔵する約10万点にも及ぶ聖教（しやうぎやう 仏教の経典や仏教に関わる書物・記録など）・古典籍類のなかから、選りすぐりの資料について、展示でわかりやすく紹介します。展示資料の点数は、全42件57点（うち重要文化財2件10点、高野山大学図書館より借用して展示する資料は27件40点）です。

### 【みどころ1】 奈良時代の写経 重要文化財 そしつじからきやう 蘇悉地羯羅經

高野山大学図書館が所蔵する聖教・古典籍のなかには、重要文化財に指定されている奈良時代の経典もあります。そのうちの 하나가、蘇悉地羯羅經3巻です。そのうち巻下の巻末には、白で承保元年（1074）に寛智が学僧の明算から伝受を受けたものであること、さらに朱で天仁元年（1108）に白河天皇の第五皇子である聖恵法親王が伝受したことも記されています。様々な人々が伝受を受けて、伝えられてきた経典だったことがわかります。なお、展示では高野山大学図書館が所蔵する、もう一つの奈良時代の経典である大毘盧遮那成仏神変加持經10巻も展示します。

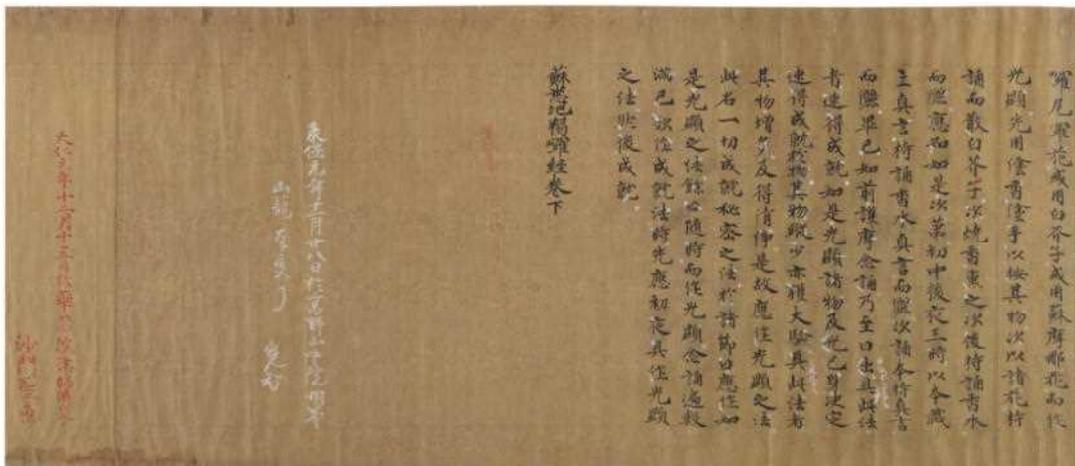


写真1 蘇悉地羯羅經 巻下 巻末（高野山大学図書館蔵（光明院文庫））

## 【みどころ2】 宇多法皇宸筆の草稿 胎蔵秘密略大軌

胎蔵界の灌頂（密教における伝受の儀礼）の次第を記したもので、朱の点や仮名などが全巻にわたって記されており、宇多法皇の宸筆とされます。宇多法皇は幼少時より仏教を篤く信仰し、昌泰2年（899）、京都の仁和寺で出家し、初めて法皇となったことでも知られる人物です。京都の東寺観智院には清書本の「胎蔵秘密略大軌」2巻が所蔵され、この資料はその草稿本と位置づけられています。本文につけられた様々な記号など、非常に見どころ満載の資料です。

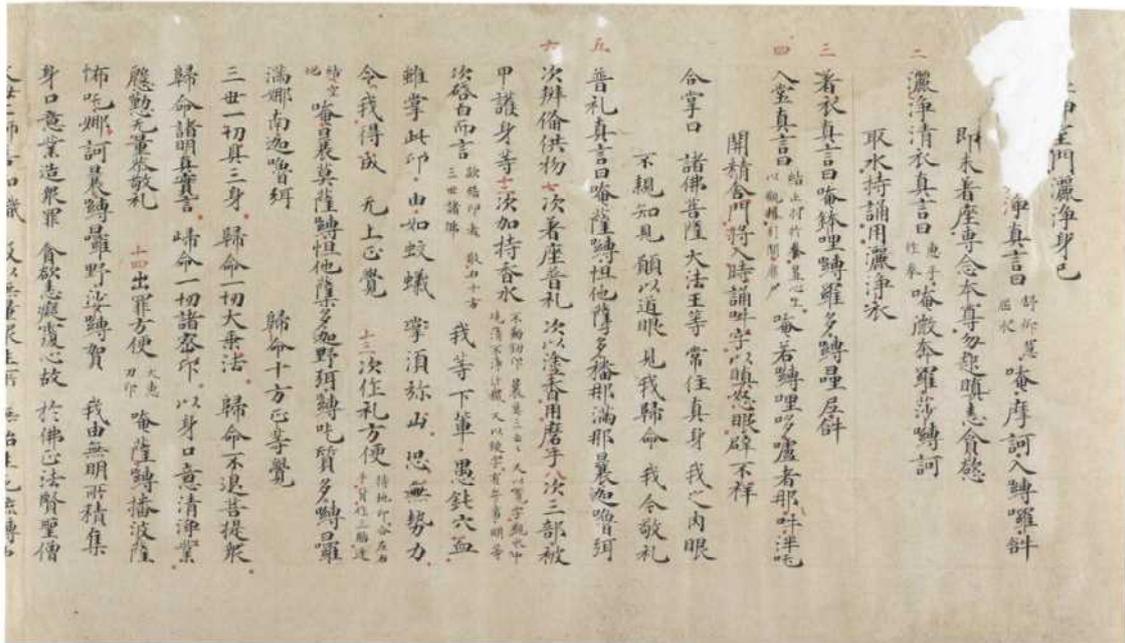


写真2 胎蔵秘密略大軌（高野山大学図書館蔵（光明院文庫））

## 【参考】高野山大学図書館について

現在の高野山大学図書館は、昭和4年（1929）に弘法大師一千百年御遠忌記念事業の一環として建築されたもので、国の登録文化財に指定されています。蔵書数は30万冊を超えますが、そのうち約10万冊は高野山内外の寺院等から寄託・寄贈された古典籍・聖教類となっています。高野山にある寺院（子院や塔頭とも呼びます）が持つ何千点もの典籍が蔵にあるままに寄贈・寄託されているところに大きな特徴があります。内容も、真言宗に限らず、日本史・国文学・国語学など多彩なものとなっています。この展示では、高野山大学図書館が誇る名宝を紹介します。



写真3 高野山大学図書館の門

※詳しくは別紙開催概要、出陳資料一覧・チラシをご参照下さい。

展示資料一覧はホームページ上でもご覧いただけます。

ホームページ <http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>

◆駐車料金（博物館利用の方は最初の2時間無料、以後30分ごとに100円追加）